

パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメント実施概要

実施期間:令和3年12月24日(金)から令和4年1月28日(金)まで

周知方法:商業労政課窓口・各区役所市政情報コーナー、静岡市ホームページ
(報道機関に情報提供、静岡新聞に記事が掲載(R4.1.7朝刊))

提出方法:持参、郵送、FAX、電子申請のいずれか

2. 結果概要

提出いただいた意見書件数 115件(113人)

うち、静岡地区に関するご意見 70件(両地区に対する意見を含む)

うち、清水地区に関するご意見 80件(両地区に対する意見を含む)

選択式設問の回答数 372件

3. 属性

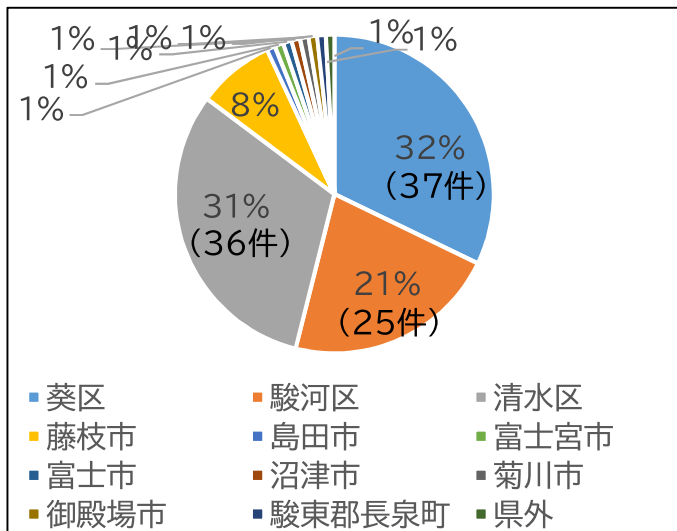
居住:市内98件(葵区37件、駿河区25件、清水区36件)、県内16件、県外1件

年齢:19歳以下1件、20代30件、30代19件、40代19件、50代20件、60代14件、70歳以上8件
不明4件

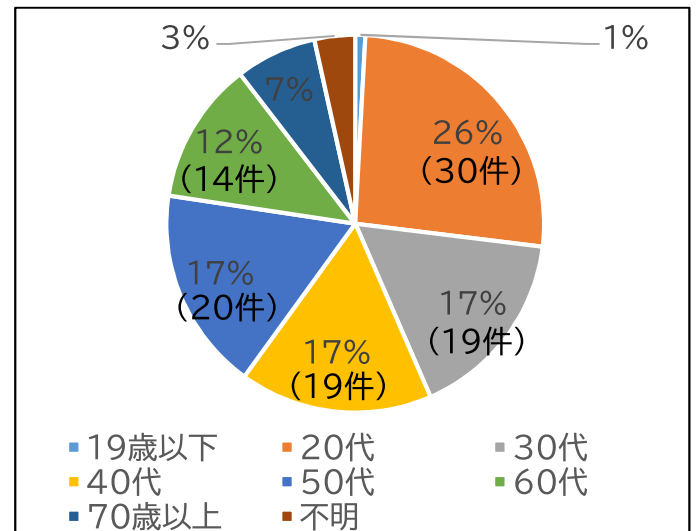
提出方法:オンライン60件、紙提出55件

職業:会社員37件、公務員27件、自営業16件、専業主婦(夫)2件、学生17件、パート・アルバイト3件
その他9件、不明4件

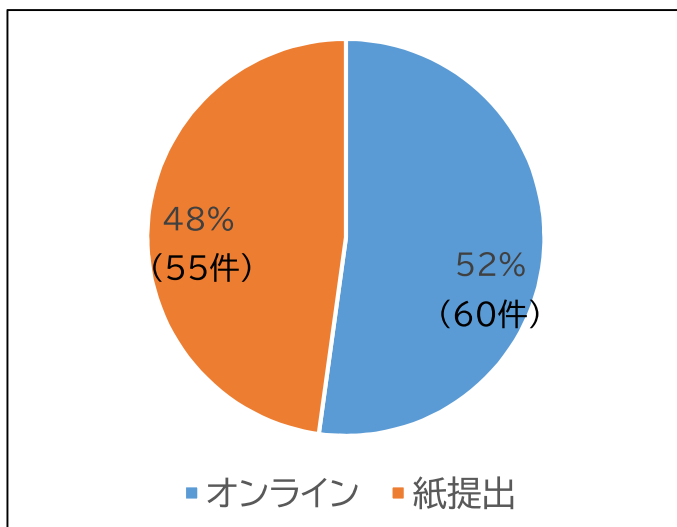
(1)居住



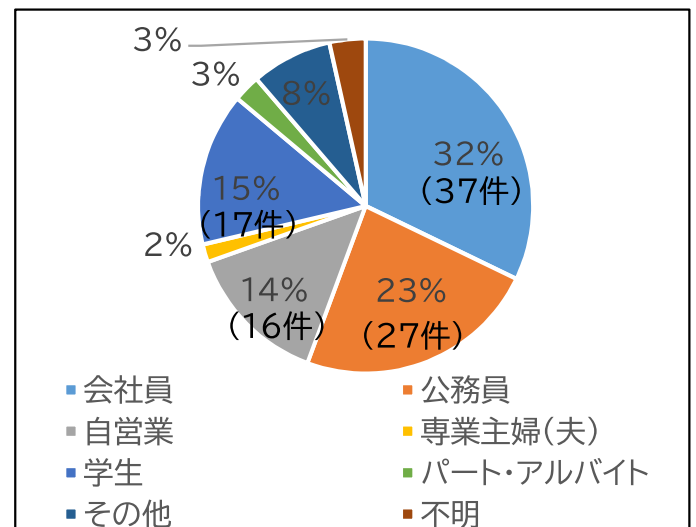
(2)年齢



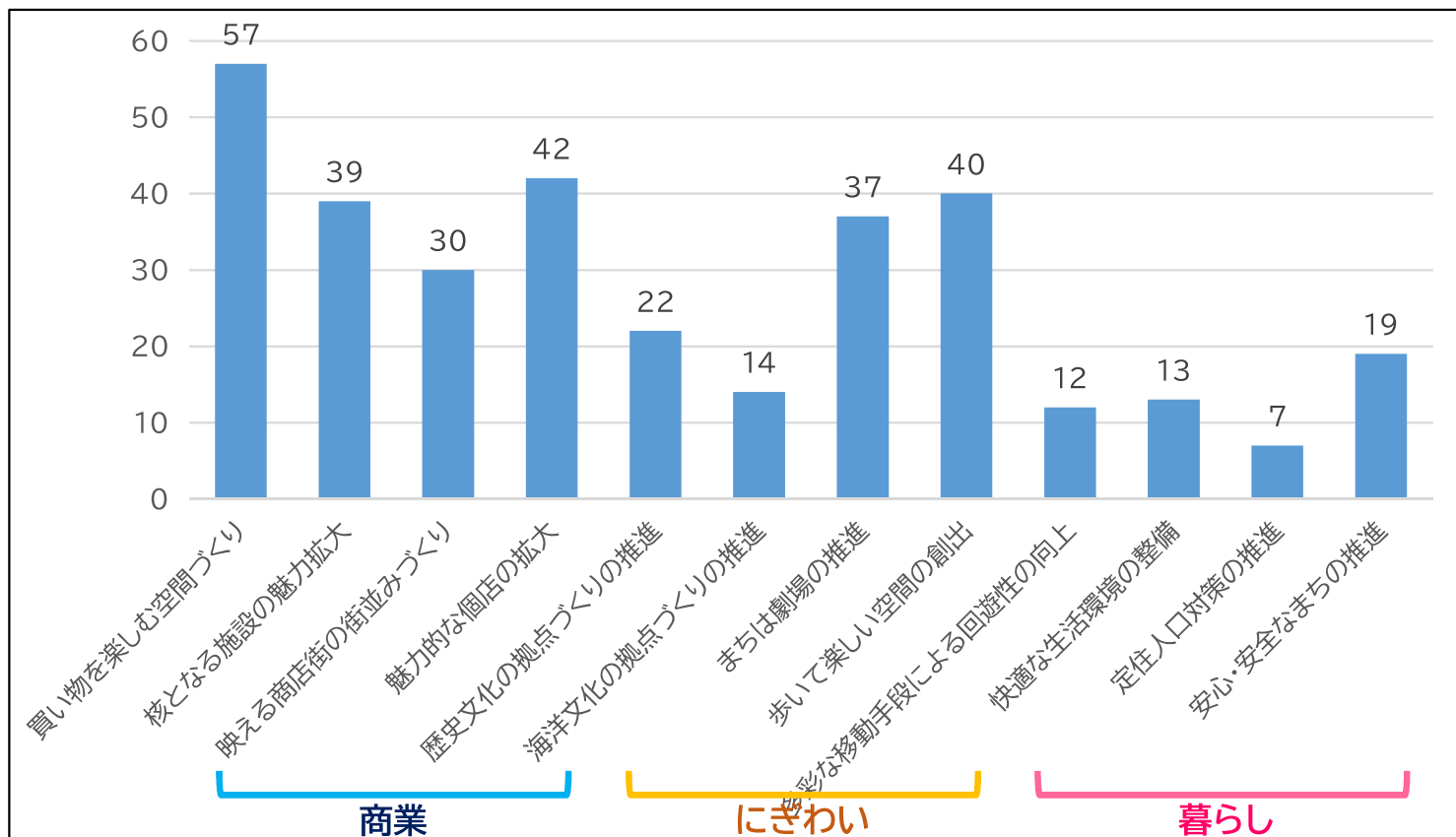
(3)提出方法



(4)職業



4. 期待する取組について(1~3位まで複数回答可)



※選択の合計332件。順位関係なく合計数で集計

今後の方向性について

【結果】

- ・期待する取組は「買い物を楽しむ空間づくり」が最も多く、次に「魅力的な個店の拡大」が多いなど、中心市街地活性化の「商業」に関する回答が上位を占めている。
- ・次に、「歩いて楽しい空間の創出」や「まちは劇場の推進」など、にぎわい創出に関する取組が多数を占めた。

【今後の方向性】

- ・最も回答の多かった商業に関する部分については、計画の中に様々な事業を位置付けておりますが、これらの取組のほか、今後、新たな取組も随時検討していきながら魅力的な商業空間の形成を図っていきます。
- ・にぎわいについては、モノ消費からコト消費の時代へと変化していることから、その重要性についての意見を多くいただいております。にぎわい(コト消費・体験)と経済の相乗効果が図られるよう計画を推進していきます。

主な選択理由について

【商業】

- ・日本中どこに行ってもあるチェーンや大手のお店ばかりではなく、静岡や清水らしいお店が増えてほしいから。
- ・物を買う事よりも体験や価値を買う時代だと思うので、興味を引くお店が増えてほしいから。
- ・インターネット販売が益々普及する中で、商業集積を進めないと中心市街地の元気がなくなってしまうから。
- ・静岡のおまちな特徴は商店街と大型商業施設の共存。その特徴に磨きをかけてほしいから。
- ・核となる施設が人を呼び込み、街の起爆剤になると思うから。

【にぎわい】

- ・歴史、文化のまち、商業のまち。このアドバンテージを活かしていつでも輝いている街になってほしいから。
- ・歩きやすく、歩きたくなるまちなかであれば、心地良いから。
- ・大道芸やイルミネーションなど、静岡ならではのイベントをもっと強化してほしいから。
- ・交流によって、まちのにぎわいを取り戻すことができると思うから

【暮らし】

- ・人口減、高齢化対策は一番の課題だと感じるから。
- ・活性化と同時に近年の感染症や防災等の安心・安全の両立を検討してほしいから。
- ・子どもや高齢者にとっても過ごしやすい街になってほしいから。
- ・人口が増えないと長期的に街の活力が低下してしまうから。